

## ○ISO/TC 8(船舶及び海洋技術専門委員会)直属のWG担当分

議長:Mr. Yanqing Li(中国。2016年1月から新たに就任)、幹事国(中国・ドイツ)

担当	規格番号	標題	標題(邦訳)	概要	制定等年月日	JIS化の状況
TC8	ISO 15849:2001	Ships and marine technology -- Guidelines for implementation of a fleet management system network	船舶及び海洋技術－フリートマネジメントシステムネットワークの実施のための指針	船主及びフリートマネジメントシステム(FMS)ネットワーク・コンピュータ・サービスの運用者に、その選定と実施についての概要と、実施の際の指針について取り纏めたもの。この規格には次のものが含まれている。 a) 広域ネットワーク、データ伝送サービス及び共通のデータベース設備を含む、一般的インフラストラクチャーに関する指針 b) アプリケーションプログラムへのサービスを含む、船上設備に関する指針 c) アプリケーションプログラムへのサービスを含む、陸上設備に関する指針	2001.11.01.	JIS F 0075:2003 (IDT)
TC8 SC11から移行	ISO 15849:2001/Amd 1:2003	同上	ISO 15849:2001修正票1:2003	ISO 15849に規定されているSITP (Ship Information Technology Platform) 及びLITP (Land-based Information Platform) に適用される場合のアプリケーション・プログラム・インターフェースの設計仕様書の例を附属書Aとして追加したもの。	2003.09.01	同上
TC8	ISO/DIS 20519	Ships and marine technology -- Specification for bunkering of gas fuelled ships	船舶及び海洋技術－ガス燃料船のバンカリング用仕様	この国際規格は、IGCコードによりカバーされない、LNG燃料船に燃料を積むために用いるLNGバンカリング移送システムおよび設備の要件を取り纏めたもの。この標準の範囲は以下の5つの要素を含む。 1) ハードウェア:液体およびガスの接続(フランジ、ホース、ドライディスコネクト、ERSおよび緊急遮断(ESD1/2)) 2) バンカリングオペレーションにおける緊急事態対応の計画立案に資する、操作の手続、通信、個人保護装置(最小機能要件)の要件化。バルブ閉鎖時、メンテナンスおよび検査時の対応も考慮。LNG供給者と船のオペレータ用の要件として、IMOのIGFコードの18.2.3項で定められている燃料取り扱いマニュアルと非常時手順詳細についても定めている。 3) 燃料品質、温度、密度およびネットエネルギー量の測定法および算出法。 4) 作業者の訓練および資格。 5) 適用可能なISO標準および地域規則へ合致させるための液化天然ガス設備の要件・また、Bunker safety checklistもAnnexとして掲載。  本件開発のためTC8/WG8が設置され、2015年2月に第1回会議を、2015年6月に第2回会議を開催した。  CCC 2/3/2として本件開発状況をIMOへ報告	DIS投票中 2016.05.04 〆切	—
TC8	ISO/WD 20661	Hopper dredger supervisory control system	ドラグサクシオン浚渫設備(システム)の標準化	ドラグサクシオン浚渫設備(システム)の技術要件、試験方法、検査基準、表示、パッケージング、移送およびストレージなどについて取りまとめたもの。【中国提案】  2015年6月:第1回ISO会議を開催 2015年10月:第2回ISO会議を開催	2015.05.06 NP投票可決	—

担当	規格番号	標題	標題(邦訳)	概要	制定等年月日	JIS化の状況
TC8	ISO/AWI 20662	Cutter dredger supervisory and control system	カッター浚渫設備(システム)の標準化	カッター浚渫設備(システム)の技術要件、試験方法、検査基準、表示、パッケージング、移送およびストレージなどについて取りまとめたもの。【中国提案】  2015年6月:第1回ISO会議を開催 2015年10月:第2回ISO会議を開催	2015.05.06 NP投票可決	—
TC8	ISO/AWI 20663	Grab dredger supervisory control system	グラブ(掴上げ)浚渫設備(システム)の標準化	グラブ(掴上げ)浚渫設備(システム)の技術要件、試験方法、検査基準、表示、パッケージング、移送およびストレージなどについて取りまとめたもの。【中国提案】  2015年6月:第1回ISO会議を開催 2015年10月:第2回ISO会議を開催	2015.05.06 NP投票可決	—
TC8	ISO 20858:2007	Ships and marine technology -- Maritime port facility security assessments and security plan development	船舶及び海洋技術—港湾施設の保安評価と保安計画の作成	ISPSコードにより要求される港湾施設に係る保安評価の実施及び保安計画の作成を行う人員の能力について取り纏めるとともに、これらを実施するための文書化に関する要求事項を提供するもの。	2007.10.15.	—
TC8	ISO/PAS 22853:2005	Ships and marine technology -- Computer applications -- Specification of Maritime Safety Markup Language (MSML)	船舶及び海洋工学—コンピュータアプリケーション—海上安全に関するマークアップ言語(MSML)の仕様書	修理及び保守に関する安全関係の情報を記録することを可能にする海上安全に関するマークアップ言語(MSML)について取り纏めたもの。	2005.10.01	—
TC8	ISO 28004-2:2014	Security management systems for the supply chain -- Guidelines for the implementation of ISO 28000 -- Part 2: Guidelines for adopting ISO 28000 for use in medium and small seaport operations	サプライチェーンのためのセキュリティマネジメントシステム—ISO 28000の実施のための指針—第2部:ISO 28000を中小港湾のオペレーションに適用するための指針	ISO 28000を中小港湾のオペレーションに適用するに際しての指針として自己認証基準を取り纏めるもの。	2014.02.01	—
TC8	ISO 28005-1:2013	Security management systems for the supply chain -- Electronic port clearance (EPC) -- Part 1: Message structures -- Implementation of a maritime single window system	サプライチェーンのセキュリティマネジメントシステム—電子通関手続き(EPC)—第1部:メッセージ構造—海事ワンストップサービスシステムの履行	メッセージ送信要件、業務シナリオ、メッセージ構造、ソフトウェア要件等の電子通関手続きに関連して必要な指針を取り纏めたもの。	2013.03.01.	—
TC8	ISO 28005-2:2011	Security management systems for the supply chain -- Electronic port clearance (EPC) -- Part 2: Core data elements	サプライチェーンのセキュリティマネジメントシステム—電子通関手続き(EPC)—第2部:コアデータ要素	沿岸航行又は入港時の船陸間の電子情報の有効な交換を促進する技術要素を取り纏めたもので、主として船舶と港湾当局・沿岸国当局との間の安全・セキュリティ情報に関する要件をカバーする。	2011.03.01	—

担当	規格番号	標題	標題(邦訳)	概要	制定等年月日	JIS化の状況
TC8	ISO 28007-1:2015	Ships and marine technology -- Guidelines for Private Maritime Security Companies (PMSA) providing privately contracted armed security personnel (PCASP) on board ships (and pro forma contract)	船舶及び海洋技術－民間武装警備員を供給する民間海上警備会社に関する指針(及び見積り契約書)	危険海域における海賊対策として乗船させる民間警備員を供給する民間海上警備会社が具備すべき事項を取り纏めたもの。BIMCOが作成した標準契約書を附属書Aとして添付している。 ※ISO 28007として作業が開始されたが、ISO 28007-2の作成作業開始に伴いISO28007-1に変更	2015.04.01	—
TC8	ISO 29400:2015	Ships and marine technology -- Offshore wind energy -- Ports and marine operations	船舶及び海洋技術－洋上風力エネルギー－港湾及び海洋での作業	鋼製基礎およびコンクリート製GBS (gravity base structure)、鋼製基礎パイル、サブシーテンプレート、風力タービン発電機の構成部品である鋼製タワー、ナセル、羽根等のオフショア構造物の港湾及び海上での作業に係る要求事項及び手引きを取り纏めたもの。 この規格は、追加モジュールの搭載や構成部品の交換といった既設構造物の変更にも適用可能である。なお、この規格は海洋環境にさらされない陸上の建設作業、オフショア構造物の供用期間中の海上でのルーチン作業や潜水作業には適用できない。	2015.05.01	—
TC8	ISO 29400:201x	同上	同上	ISO 29400:2015が2015年5月1日付で制定される前に実施されたFDIS投票において各国から提出された多岐に渡る意見を審議するため、以下のTC8総会決議を以て改正作業の実施が採択された。  ISO/TC8 Resolution 329 ISO/TC8 agrees to open ISO 29400:2015 for revision as proposed by WG3 in TC8/WG3/N68. The project leader is to be Kerstin Wessel (DIN). The revision is to include further development as proposed in N68 with a target date 24 months from registration date. The TC8 Secretary is to initiate a call for experts.	2015.11.12	—
TC8	ISO/NP 29401	Ships and marine technology -- Offshore wind energy -- Communication and Emergency management	船舶及び海洋技術－洋上風力エネルギー－通信及び緊急管理	討議用ドラフト未回章	2012.06.13 AWI登録	—
TC8	ISO/NP 29402	Ships and marine technology -- Offshore wind energy -- Entry-level qualification	船舶及び海洋技術－洋上風力エネルギー－参入資格	討議用ドラフト未回章	同上	—
TC8	ISO/WD 29403-1	Ships and marine technology — Offshore wind energy - Zone model — Part 1: Zonen code	船舶及び海洋技術－洋上風力エネルギー－区画モデル－第1部:ゾーンコード	風車関連機器が設置される区域と機器の移動性を表すObject levelによって区分けすることにより、機器の特性を把握することを目的としている。	同上	—
TC8	ISO/WD 29403-2	Ships and marine technology — Offshore wind energy - Technical equipment — Collection and treatment of oil in waste water	船舶及び海洋技術－洋上風力エネルギー－専門設備－廃水中に含まれる油の収集及び取り扱い	海洋汚染防止を目的とした、洋上変電所における廃油処理のための油水分離システムについて取り纏めたもの。  TC8/WG3(特殊海洋構造物及び支援船)ではなく、TC8/SC2/WG3(環境-環境対応)で扱われることとなった。近々、新しい番号で、NP投票が実施される。	同上	—

担当	規格番号	標題	標題(邦訳)	概要	制定等年月日	JIS化の状況
TC8	ISO 29404:2015	Ships and marine technology -- Offshore wind energy -- Logistics -- Supply Chain Information Flow	船舶及び海洋技術－洋上風力エネルギー－ロジスティクス－サプライチェーン情報フロー	洋上風力エネルギー施設の建設時又は保守時における構成部品のサプライヤーから建設サイトまでの物理的移動を制御するためのメッセージの内容及びフォーマットを取り纏めるもの。	2015.12.01	—
TC8	ISO/NP 29405	Ships and marine technology -- Offshore wind energy -- Work and Living Condition Offshore	船舶及び海洋技術－洋上風力エネルギー－海上における作業・居住条件	討議用ドラフト未回章	同上	—
TC8	ISO/NP 29406	Ships and marine technology -- Offshore wind energy -- Personnel transfer system	船舶及び海洋技術－洋上風力エネルギー－人員輸送システム	風車に関する作業過程においては、エンジニア、技術者及び検査官に限らない人員並びにそれらの作業員が装着する100kg以下の作業器具は、船舶から浮体式又は着底式構造物に搬送されなければならない。その過程は、以下の間において実施される。 ・船舶及びボートによる上陸 ・船舶及び外付けプラットフォーム ・船舶及びエンバケーションラダー	NP投票可決 2015.08.03	—
TC8	ISO 30000:2009	Ships and marine technology -- Ship recycling management systems -- Specifications for management systems for safe and environmentally sound ship recycling facilities	船舶及び海洋技術－シップリサイクルマネジメントシステム－安全で環境に優しいシップリサイクル施設のマネジメントシステムの仕様	国内基準及び国際基準に従って安全で環境に優しいシップリサイクル作業を実施するために必要な船舶のリサイクルマネジメントシステムの一連の手順、ポリシー及び目的についての要求事項を取り纏めたもの。	2009.03.15	—
TC8	ISO 30002:2012	Ships and marine technology -- Ship recycling management systems -- Guidelines for selection of ship recyclers (and pro forma contract)	船舶及び海洋技術－シップリサイクルマネジメントシステム－シップリサイクル事業者選定のための指針(及び見積契約書)	船舶所有者に対するシップリサイクル施設選定の際の選定プロセスや契約フォーマット等の指針について取り纏めたもの。	2012.06.15	—
TC8	ISO 30003:2009	Ships and marine technology -- Ship recycling management systems -- Requirements for bodies providing audit and certification of ship recycling management	船舶及び海洋技術－シップリサイクルマネジメントシステム－シップリサイクルマネジメントシステムの監査及び認証を行う団体の要件	ISO30000の規定に沿ったシップリサイクルマネジメントシステムに係る監査及び認証業務を行う組織・団体への原則及び要求事項を取り纏めたもの。	2009.10.01.	—
TC8	ISO/CD 30003	Ships and marine technology -- Ship recycling management systems -- Requirements for bodies providing audit and certification of ship recycling management	船舶及び海洋技術－シップリサイクルマネジメントシステム－シップリサイクルマネジメントシステムの監査及び認証を行う団体の要件	2014年10月開催のISO/TC8総会において、不具合点が多々あることがTC8/SC1議長から指摘され、1年間の作業期間での改正に着手することが合意。 2015年10月開催のISO/TC8総会において、本件の改正作業を行なうためのプロジェクトリーダーを探している旨の報告あり。	2015.03.01 DIS投票段階から改正作業を着手する投票が可決	—



担当	規格番号	標題	標題(邦訳)	概要	制定等年月日	JIS化の状況
TC8	ISO 30004:2012	Ships and marine technology -- Ship recycling management systems -- Guidelines for the implementation of ISO 30000	船舶及び海洋技術－シップリサイクルマネジメントシステム－ISO 30000の実施のための指針	ISO 30000の原理・原則を解説するとともに各要求項目の趣旨、典型的インプット、プロセスと典型的アウトプットについて記述し、ISO 30000の包括的な指針を取り纏めたもの。	2012.07.15.	—
TC8	ISO 30005:2012	Ships and marine technology -- Ship recycling management systems -- Information control for hazardous materials in the manufacturing chain of shipbuilding and ship operations	船舶及び海洋技術－シップリサイクルマネジメントシステム－造船の製造チェーン及び船舶運航時における有害物質の情報管理	シップリサイクル条約の規定に適合した有効かつ標準化された矛盾のない方法で有害物質に係る情報を管理、伝達、維持するための指針について取り纏めたもの。	2012.05.15.	—
TC8	ISO 30006:2010	Ship recycling management systems -- Diagrams to show the location of hazardous materials onboard ships	シップリサイクルマネジメントシステム－船上に存在する有害物質の場所を示す図表	シップリサイクル条約で義務付けられている有害物質一覧表(インベントリ)に関するシップリサイクル業者の理解を助けることとなる船上に存在する有害物質の場所を示す図表に係る要求事項を取り纏めたもの。【日本主導】	2010.12.15.	—
TC8	ISO/NP 30006	Ship recycling management systems -- Diagrams to show the location of hazardous materials onboard ships	シップリサイクルマネジメントシステム－船上に存在する有害物質の場所を示す図表	2014年10月開催のISO/TC8総会において、IMOにおける討議および欧州域内規制を考慮した改正を行う必要性がTC8/SC1議長から指摘され、日本舶用品検定協会 吉田公一氏を議長として、1年間の作業期間での改正に着手することが合意。	2014.11.26付でAWIとして登録	—
TC8	ISO 30007:2010	Ships and marine technology -- Measures to prevent asbestos emission and exposure during ship recycling	船舶及び海洋技術－シップリサイクル時のアスベスト飛散と曝露防止対策	シップリサイクルの際に船舶に使用されているアスベストの発じんを抑制して、一般環境への飛散及び作業者の曝露を防ぐための有効な方法について取り纏めたもの。【日本主導】  2014年10月開催のISO/TC8総会において、IMOにおける討議および欧州域内規制を考慮した改正を行う必要性がTC8/SC1議長から指摘され、日本舶用品検定協会 吉田公一氏を議長として、1年間の作業期間での改正に着手することが合意されたが、2015年10月開催のISO/TC8総会において、業界要望も無く改正する必要性がないとの結論に至り、改正を取りやめた。	2010.12.01.	—